

1. 策定の趣旨

水道事業を取り巻く環境の変化
外部環境の変化
 ・人口減少や節水技術の普及による水需要の減少
 ・水源水質の変化
 ・自然災害の激甚化
内部環境の変化
 ・施設の老朽化による更新機会の増加
 ・技術職員の減少、ベテラン職員の退職による技術力の低下

企業庁の使命である安全な水の安定供給
 および地域産業の健全な発展に
 貢献していくため、
 将来にわたり、健全な経営を確保する

中長期的な視点に基づく経営の基本計画

滋賀県企業庁経営戦略

計画期間：10年間(令和3年度～令和12年度)



3. 基本理念・基本目標

基本理念 「信頼の水で、地域の未来に貢献します」

【安全】
安全で良質な水を安定して供給します

【強靱】
信頼を支える強靱なライフラインを構築します

基本目標

【持続】
社会の変化に対応した持続可能な経営を推進します

2. 現状評価と課題

(1) 事業実績と評価

安心(水質)：水道GLPを取得するとともに、水安全計画を策定し、安全な水の安定供給に努めたが、平成28年度のかび臭など新たな課題も生じた。
 安定(施設)：アセットマネジメント計画を策定し、計画に基づき耐震化や管路の更新に着手したが、進捗に若干の遅れが見られる。
 持続(経営)：健全経営(黒字)を維持するとともに、用水供給事業において浄水場の料金統一するなど経営の安定化に努めた。

【水道用水供給事業】

| 基本目標 | 指標 | 優位性 | 目標値 | | | | 直近3年間の実績 | | | |
|------|----------------------------|-----|-------|-------|-------|------|----------|-----|-----|----|
| | | | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 |
| 安心 | かび臭から見たおいしい水達成率(%) | ↑ | 70 | 55 | 80 | 75 | | | | |
| | 総トリハロメタン濃度基準比(%) | ↓ | 30 | 35 | 34 | 36 | | | | |
| | 水質苦情件数(件) | ↓ | 0 | 31 | 0 | 1 | | | | |
| 安定 | 浄水施設の耐震化率(%) | ↑ | 15 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| | ポンプ所の耐震化率(%) | ↑ | 65 | 40.7 | 40.7 | 40.7 | | | | |
| | 管路の耐震化率(%) | ↑ | 40 | 34.2 | 35 | 36.6 | | | | |
| | 自家発電設備容量率(%) | ↑ | 70 | 90.2 | 90.2 | 90.2 | | | | |
| | 料回収率(%) | ↑ | 102以上 | 126.3 | 123 | 122 | | | | |
| 持続 | 経常収支比率(%) | ↑ | 108以上 | 126.1 | 122.4 | 121 | | | | |
| | 給水収益に対する内部留保資金の割合(%) | ↓ | 80以上 | 197 | 207 | 239 | | | | |
| | 給水収益に対する企業債残高の割合(%) | ↓ | 320以下 | 215.5 | 199.2 | 183 | | | | |
| 環境 | 過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対前年比(%) | ↓ | -0.01 | 0.19 | 1.5 | 0.4 | | | | |
| | 浄水発生土の有効利用率(%) | ↑ | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | |
| | 建設副産物のリサイクル率(%) | ↑ | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | |

【工業用水道事業】

| 基本目標 | 指標 | 優位性 | 目標値 | | | | 直近3年間の実績 | | | |
|------|----------------------------|-----|-------|-------|-------|------|----------|-----|-----|----|
| | | | R2 | H29 | H30 | R1 | R2 | H29 | H30 | R1 |
| 安心 | 水質苦情件数(%) | ↓ | 0 | 2 | 0 | 0 | | | | |
| | ポンプ所の耐震化率(%) | ↑ | 45 | 34 | 34 | 34 | | | | |
| 安定 | 配水地の耐震化率(%) | ↑ | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | |
| | 管路の耐震化率(%) | ↑ | 16 | 13 | 13 | 13.8 | | | | |
| | 料回収率(%) | ↑ | 100以上 | 123.6 | 109.5 | 113 | | | | |
| 持続 | 経常収支比率(%) | ↑ | 100以上 | 123.6 | 124 | 120 | | | | |
| | 給水収益に対する内部留保資金の割合(%) | ↓ | 100以上 | 415 | 548 | 589 | | | | |
| | 給水収益に対する企業債残高の割合(%) | ↓ | 300以下 | 19.6 | 20.5 | 19 | | | | |
| 環境 | 過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対前年比(%) | ↓ | -0.01 | 0.19 | 1.5 | 0.4 | | | | |
| | 浄水発生土の有効利用率(%) | ↑ | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | |
| | 建設副産物のリサイクル率(%) | ↑ | 100 | 100 | 100 | 100 | | | | |

※網がけ：令和元年度時点 目標項目を達成できていない指標

(2) 主な課題

- (安心) ・水源情報の適切な把握
・活性炭施設の導入
- (安定) ・アセットマネジメント計画の着実な実施
・施設の耐震化・浸水対策
- (持続) ・給水量の減少を見据えた施設規模の検討
・人材育成と技術継承
- (環境) ・エネルギー消費量の削減

4. 基本目標の達成に向けた戦略

- 戦略1 地域の災害リスクを的確に把握し、リスクに応じた施設・設備の強靱化を機動的に図る
- 戦略2 地域に根ざした経営を行う公営企業として、地域経済の活性化に貢献する
- 戦略3 水源環境を守り、良質な水の安定した供給に取り組む

具体的取り組み

1. 安全

- 水道水源への対応
環境動向の把握と対応、森林保全活動の実施
- 水質管理の強化
水道GLPを規範とした水質信頼性の確保
- 安全で安定した水の供給
水安全計画による安全な水の供給、異臭味への対策強化...

2. 強靱

- 施設の計画的な更新
アセットマネジメント計画の着実な実施
- 水道施設の耐震化
浄水場等の耐震化、管路の耐震化
- 施設の浸水対策
- バックアップ体制の充実
非常用発電能力の強化
- 危機管理体制の強化
危機管理マニュアルの充実、事業継続計画(BCP)の充実...

3. 持続

- 健全経営の維持
適正な料金設定、新規受水企業の開拓
- 経営の効率化の推進
施設規模の適正化、新たな技術の導入・活用
- 地域経済の活性化への貢献
委託業務、請負工事における県内事業者への受注機会の拡大、県内生産資材の活用促進
- 人材育成と技術継承
技術の継承と人材確保、効果的な人材育成
- 広域連携
- 環境に配慮した取り組み
- 地域、社会の理解促進

5. 投資・財政計画

(1) 基本的な考え方

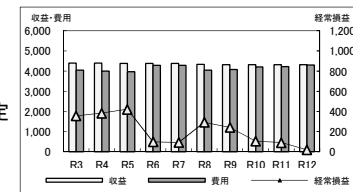
- ・自然災害や老朽化に対応するため、アセットマネジメント計画に基づく施設整備事業を着実に実施し、施設の強靱化を図ります。
- ・効率的な経営および適正な料金設定により財政基盤を強化し、経営を安定的に継続します。

(2) 収支見通し

(水道用水供給事業)

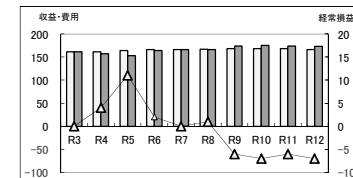
- 【収益的収支】
・純利益は減少するが、黒字を確保
- 【資本的収支】
・今後10年間で約416億円の投資を予定
- ◎主な投資計画
吉川浄水場耐震対策工事(R1~R4)
総事業費 96億円
- 管路更新工事(R3~R12) 153億円
- 浸水対策工事(R3~R4) 2億円

収益的収支見通し (単位:百万円)



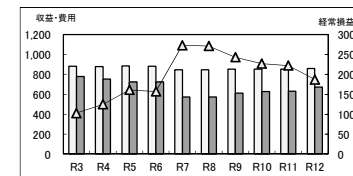
(工業用水道事業)

- 彦根
【収益的収支】
・令和9年度以降赤字になる見通し
(内部留保資金で調整)
- 【資本的収支】
・今後10年間で約17億円の投資を予定



○南部

- 【収益的収支】
・純利益は令和7年度に増加後、減少するが黒字を確保
- 【資本的収支】
・今後10年間で約66億円の投資を予定
- ◎主な投資計画
管路更新工事(R3~R12)
彦根:6億円 南部:28億円



6. 計画の推進

- ・取り組みを確実に推進していくため、外部からの意見も聴取しながら、PDCAサイクルに基づいた定期的な検証・評価を実施。
- ・計画中期の5年後をめぐりに総合的な検証・評価を実施。必要に応じて企業庁経営戦略の見直しを実施。

